

# 金目川水系 **せせらぎ通信**

Vol.24

編集・発行 金目川水系流域ネットワーク世話人会 発行日2009年6月1日

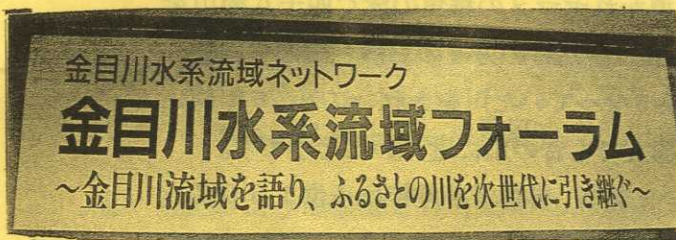
## 金目川水系流域フォーラム2009年開催！

### 金目川流域～よみがえれ生きものたち

去る2月1日(日)13時20分～16時30分 東海大学湘南校舎13号館(201教室)にて盛大に開催されました。主催；金目川水系流域ネットワーク 共催；NPO法人東海大学地域環境ネットワーク・東海大学大学院人間環境学研究科・神奈川県湘南地域県政総合センター 協力；神奈川県環境科学センター 後援；平塚市・秦野市・伊勢原市  
最初に主催者の挨拶(金目川水系流域ネットワーク代表 佐々木園子氏)があり次に事例発表が下記の順で実施されました。

- ① 河内川生きも物調べ ;河内川あじさいの会 安居院 虎雄 氏
- ② 希少魚類の調査・保護活動について；NPO法人四十八瀬川自然村 田中 義郎氏・氏田 章治氏
- ③ 高校生が出会った水辺の外来生物 ; 私立 向上高等学校 生物部
- ④ 合成洗剤が及ぼす生物への影響 ; NPO法人東海大学大学院人間環境学研究科 佐久間 史明氏
- ⑤ 金目川の生き物観察会 環境共育の広がり求めて ; 金目川水系流域ネットワーク 水野 義之氏

以上発表の後参加者との意見交換会を実施いたしました。

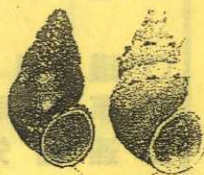


手話通話も入った質疑応答風景



150数名の参加者会場風景

事例発表風景



コモチカワツボ

# 金目川水系流域フォーラム2009に出席して

宗近 京子

当日は快晴で雪を頂いた富士山が、吾妻橋付近から金目川のキラキラ光る川面と合わせ美しく、素晴らしい自然を大事にしてとの挨拶の様に思えました。

知らずにタイワンシジミを食べてしまったか、日本のシジミが、人間に汚された川の中で生活しづらくなった所に外来種が入り込み増え、減少を余儀無くされた様です。発見し地道な活動を続けている私立向上高校、生物部の皆さんに感謝致します。タイワンシジミは、すでに都府県に広がってしまった様で、日本のシジミの保護が急がれています。

ニュージーランド原産、巻貝のコモチカワツボがホタルの好物カワニナと似て違うのは貝殻の口が丸くマグネシウム等のミネラルが不足し、食べたホタルのオスは光不足でデートも不可らしいです。靴の裏等に付いて移動するため、退治には逆性石鹼が効く様です。

ホテイアオイは大変な増え方で水の表面から太陽の光を遮り枯れると水を汚す事になると、私立向上高校の皆さんが厚木の広町公園で4トンも取り除き、堆肥にしたそうです。金魚の水槽でお馴染みですが南アメリカ原産で「世界の外来侵入種ワースト100」です。

NPO 法人東海大学地域環境ネットワーク・東海大学大学院人間環境学研究科、佐久間氏により、合成洗剤に含まれる界面活性剤の生物への悪影響を、写真で実感として捉えられた事は効果抜群です。ヒメダカは、界面活性剤がある濃度を越えるとエラに悪影響を受け、呼吸困難に、そして致死状態になります。上皮細胞と真皮、ウロコは薄くカサカサになり、筋繊維にすきまがあき、繊維の中まで悪影響ですが、石鹼では中まで影響はないそうです。

下水道完備の難しい地域の排水の無毒化、洗剤メーカーの開発と協力、石鹼原料を得る為の環境に優しい取り組みが望まれます。熱帯雨林を伐採しヤシを植え象もゾーッとする様な環境変化では困ります。私の住む厚木の地元の方の先代はムクロジの実(サポニン有)を水に浸け石鹼代りに使っていたらしいです。魚毒もある様ですが参考になります。

NPO 法人四十八瀬川自然村の田中氏は土手整備、人工林伐採等の活動報告をされました。氏田氏は魚の調査の為、堰堤調査をし、大腸菌の検査では一晩抱いて寝るという熱の込め様です。昨年6月、日本山岳会会員で当会会員に導かれヤマメの稚魚の泳ぐ四十八瀬川を渡り、伐採された斜面を鍋割山に無事登山できたのも、自然村の方々のお陰と想像します。

河内川あじさいの会、安居院氏はゴミ捨て場の様になっていた川をきれいにし、6年前、金目川から通年取水を実現し、河内川は市の生物調査でも昔の川に近づいたそうです。

当会、水野氏は夏の金目川の生き物観察会について報告、参加者が昨年は子供130名、満足度(楽しい)98%で大人を含め250名程の盛大さを発表しました。

## 6月度定例会議のお知らせ

- 日 時 平成21年6月6日(土) 午後1時30分
- 場 所 土屋公民館 平塚市土屋1864-1 電話 0463-58-0833  
駐車スペース有り。 バスは平塚秦野線 土屋橋下車
- 議 題 夏休み金目川生き物観察会・せせらぎ通信発行の体制について、他
- 事務局 平塚市南金目722-2 柳川 三郎 宅
- 連絡先 平塚市見附町30-8 小林 公圀 0463-32-4987  
Email [kobatomo1198@ma.scn-net.ne.jp](mailto:kobatomo1198@ma.scn-net.ne.jp)  
携帯 090-8594-4866

## フォーラムアンケート調査結果について

- 「金目川水系流域フォーラム2009」に参加した方に配布し回収したアンケート回答状況を下記の通り掲載いたしました。(紙面の関係上全文は掲載できませんでした。)  
[アンケート回答者91名]

☆ 今回のフォーラム参加のきっかけは？(複数回答可)

- イ 地域の自然や環境に興味があったから 48    ハ 知人や家族に誘われたから 18  
ロ 出演している団体に興味があったから 15    ニ その他 38

☆ 今回のイベントに参加してみたいかがでしたか？

- イ 良かった 73    ロ 普通 18    ハ よくなかった 0

理由

- 向上高校の発表がありとても良かった。(時間が足りなかったですね！)  
○ かなりアカデミックなプレゼンが多く、役に立ちました。  
○ 無意識に生活している中で、色んな環境対策、研究等多くの人達が活動しているのだからと思いました。  
○ 高校生、大学生、地域が交流しようという意気込みがよかった。

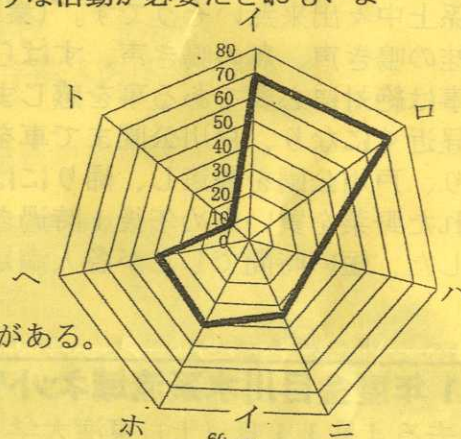
☆ 今回のイベントが、金目川水系や地域の自然環境への理解を深めるきっかけになりましたか？

- イ 大いになりました 56    ハ あまりならなかった 0  
ロ 一部なった 32    ニ 全くならなかった 0

☆ 身近な川を、親しみ愛される川にしていくために、どのような活動が必要だとおもいますか？(複数回答可)

- イ 川の清掃や草刈 68  
ロ 川の生き物(魚や水生昆虫)や植物の自然観察 71  
ハ 水鳥などの探鳥会 28  
ニ 川沿いを歩くウォーキング 34  
ホ 川の周辺の歴史や地域づくりを知る活動 40  
ヘ シンポジウムや講演会の開催 38  
ト その他 10

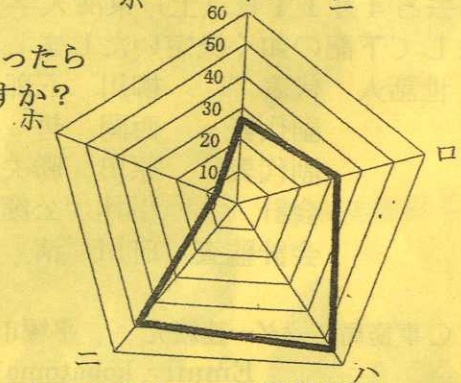
- 地域住民に知ってもらう機会作りをもっと考える必要がある。  
○ 山、水源との交流が少ないと思う。  
○ 地域特性を生かした景観めぐりの企画と実施



☆ 上記のような活動を行うために、どのようなサポートがあったらよいと思いますか？(複数回答可)

- イ 活動内容の相談 26  
ロ 金銭的な支援 32  
ハ 広報活動の支援 54  
ニ 活動の人的支援 48  
ホ その他 7

- 行政やメーカーのもっと参加を求める策が必要。  
○ 大人と子供の混成作業。  
○ ロ、ハ、ニのサポートもいずれ自立できる方向性を持ってという意味での支援が必要。

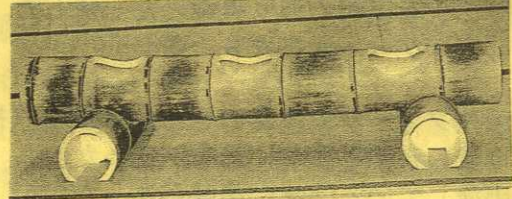


※ 上記アンケートは神奈川県湘南地域県政総合センターのご協力により作成いたしました。

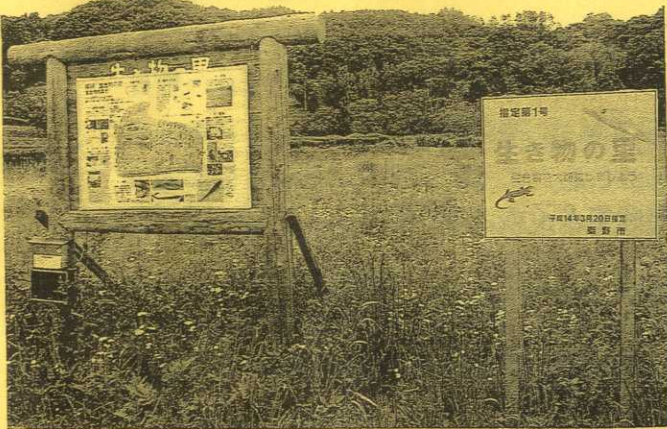
## 一生き物の里散策報告一

去る5月17日(日)小雨模様の天候でしたが、渋沢駅10時集合出発。当初の参加人員より少人数(10名)となりましたが生き物の里に向かいました。天候がはかばかしくないため、車3台で現地に出発しました。生き物の里に行く前に会員の知人である長福寺に立ち寄り住職より小学校発祥地である説明を聞き寺の周りを住職のお話を聞きながら散策、また竹やぶで採れた直径20cm以上の太い竹の水挿しを見せて頂きびっくりしました。長福寺は住職で18代目となる由緒あるお寺だそうです。

(水差し)→



会員の中にはすでに現地に来た人もいると思いま

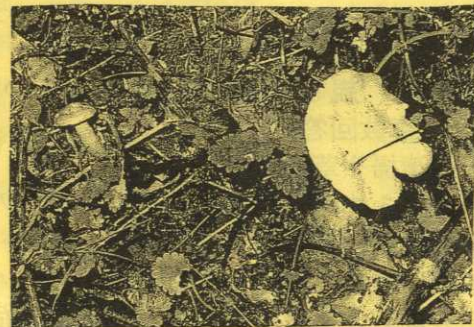


すが、左記の写真でもわかるように田んぼは雑草が生い茂り生き物を見つけるには至らなかったが地権者である地元の守屋さんから現在の状況を話して頂きました。我々が到着直前に直ぐそばまでキジが餌をついばんでいた事を聞きビックリいたしました。またこの場所は鹿も来れば、猪も作物を食べに農地を荒らしてしまう被害にあうそうです。守屋さんの案内で梅林に入りそこで見つけたのがシメジでした。梅の枝と落ち葉の隙間からあちこちと顔を見せていました。

水田に湧水(井戸)がありその奥の竹林は手入れをしないではいけないそうですが現状では予算の関係上中々出来無いそうです。(秦野市管轄)

蛙の鳴き声、鳥の鳴き声、すばらしい自然を残す事は絶対に必要である事を感じました。

お昼近くになり、戸川公園まで車を走らせ昼食をとり、戸川公園を散策し、帰りには地元で収穫された野菜を買い求め午後1時過ぎに解散致しました。短い時間でしたが各人満足し今後活動の糧にしたいと思います。



(梅ノ木の下に顔を出すシメジ)

### 21年度金目川水系流域ネットワーク世話人会

去る4月11日(土)東海大学10号館208号室にて21年度定例総会を実施いたしました。下記の如く決定いたしました。

世話人	代表	柳川 三郎
	副代表	西岡 哲
	副代表	原田 勝夫
	会計	小林 公圀
	会計監査	府川 清

※事務局は代表宅に置き事務局リーダーを会計の小林が兼務(0463-32-4987)する事に同時決定致しました。

尚「せせらぎ通信」発行については今後事務局が窓口となり発行する事になり、会員の皆様方と協力し合い発刊したいと思います。

○事務局リーダー連絡先 平塚市見附町30-8 電話 0463-32-4987 FAX 0463-32-4977

Email [kobatomo1198@ma.scn-net.ne.jp](mailto:kobatomo1198@ma.scn-net.ne.jp) 携帯 090-8594-4866 小林 公圀